**12月16日　株式会社TNPパートナーズ　代表取締役社長　呉　雅俊　氏**

**問1　学んだこと、印象に残った言葉・エピソード・メッセージなど**

日本は高度経済成長を終え、GDP成長率も下がってきており、経団連の悲観シナリオでは、2050年には先進国から転落してしまう。その理由は新しい産業が育っていないからである。今後、人口が減り、労働人口も減っていくなかで産業が育っていないことは日本の経済の衰退はますます進行してしまう。それゆえ、ベンチャー企業がもっと成長する必要がある。ベンチャー企業の成長にはベンチャーキャピタルの支援が必要である。以前はベンチャーキャピタルに対するイメージは金もうけのためにやっているだけというものだったが、今回の講義を聞き、そのイメージも変わった。（経営学部会計・情報学科1年）

　ワタミの設立者の方との出会いが人生に大きく影響を与えたということについて、人との巡り合いの大切さを感じました。「365日24時間働け」という言葉の意味のとらえ方が会社が大きくなるにつれて変わっていってしまったという話も印象的でした。会社の規模が変わっても、方針を企業全体で共有できると、世間の持つその企業イメージも良くなるのかもしれないと思いました。（理工学部化学生命系学科3年）

人との出会いはやはり人に大きく影響を与えるのだなと思った。私は今まで出会った中で、会社をつくりたいと強く願っている人は見たことがないが、これからそういった強い思いを持っている人に出会ったらコンタクトをとっていきたいと思った。通販サイト大手のamazonが一時期潰れるのではと考えられたというのは衝撃的だったし、安心した。大成功に至るまでには、誰もが失敗や苦労を味わっていると知ったから。また、やはり気合と根性とか気持ちの問題は大きくてもそれだけでは足りないというのは確かにあるなと思った。ワタミのブラックと言われている理由も知れてよかった。（教育人間・人文1年）

シリコンバレーのベンチャーキャピタルに倣った概念に大変感銘を受けました。そしてそれと同時にシリコンバレーの制度の偉大さに気づかされました。米国はベンチャーキャピタルが多くあり、そのため新しい企業が成長しやすいと聞いたことがあります。日本も米国を見習ってベンチャーの育ちやすい環境を作らなければ世界の成長に遅れを取ってしまいます。将来の成長にかけてくれるベンチャーキャピタルが増えていくことが日本経済の成長につながると思います。 (経営学部国際経営学科一年）

今日の講義では、シリコンバレーのベンチャー企業のことを聞き、どうしても保守的な方向に向かってしまう日本の悪さを知りました。しかし、日本人には勤勉さや最後までやり遂げる真面目さがあります。それらにプラスして、ベンチャーキャピタルの助けを借りて、シリコンバレーのような失敗を恐れず、挑戦し続ける精神をもつことで、大きな躍進を遂げる可能性があると感じました。経験豊富なベンチャーキャピタルの力を借り、世界で通用するような高い技術をもった中小企業を長い目で見つつも、短期間でどんどん上昇させ、日本の国内市場が活気あるものになっていけばと思います。（経営・経営１年）

本日の講義で１番印象に残ったのはイノベーションの源泉についてです。今まではビジネスにおいて客観性がすごく重要だと思っていたのですが、必ずしもそうではなくて、主観的に考えたほうがいいときもあるということを知ることが出来てとても勉強になりました。（経営学部経営学科1年）

　私は、この講義で「チャレンジ」をすることが非常に大事だと思いました。確かに今の日本では安全志向にとらわれて、活気がなくなってしまっているように思います。やはり、下方傾向にある日本経済が上向きになるためには、力を存分に発揮できない中小企業に注目すべきだと思いました。受け皿のない中小企業が海外の大企業と提携することでともに成長していければよいと思いました。また、日本と海外を比較すると、やはり投資額・援助額の規模の大きさが桁違いだと気づかされました。日本では相手が赤字だと我慢出来ずに株を売ってしまいます。まさに「育てる資本主義」だと思いました。（経営/国際経営1年）

**問2　今後の学びやアクションに繋げたいこと**

教育においても何かを変えようとするときには、まずは自分を信じて主観的な考えから進めてみるのもひとつの方法としていいと思いました。（教育人間科学部学校教育1年）

成功の重要なポイントとして、「科学と理論」「気合と根性」の適度な加減が大切だとおっしゃっていましたが、自分も今将来何をやりたいのか迷っています。平均的で安定したことをやりたいと思えば、できると思いますが、きっと自分のやりたいこととは違うと思います。しかし、自分のやりたいことをやるならば、それなりの努力が必要です。「気合と根性」の入れ方を変え、挑戦することで、新たな発見が出来るのではないかと思います。これからの大学生活で様々な方の話を聞いて、沢山吸収したいです。（教育人間・人文１年）

ベンチャー企業、ビジネスプランということを考えるうえで、もっと学びを深めていかなければならないと感じた。”気合と根性”だけでは成り立たないというのがすごく分かりやすく学ぶことができたし、”シリコンバレーモデル”のようなネットワークを構築していく必要があると感じた。（経営学部国際経営学科1年）